



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

8月6日は、広島「原爆の日」 被爆80年

広島は6日(水)、被爆80年の「原爆の日」を迎えました。原爆投下時刻の午前8時15分に合わせて開かれた平和記念式典には、原爆で亡くなった人たちの遺族や、石破茂首相らが参列しました。生徒のみなさんに、こども代表による「平和の誓い」を紹介します。被爆50周年(平成7年)の平和記念式典で、広島市長の平和宣言に続いて、初めてこども代表が「平和への誓い」を述べました。これは「こども平和のつどい」で世界のこどもたちが話し合った結果を平和への決意として述べたもので、翌年以降もこの成果を引き継ぐ「こどもピースサミット」を開催し「平和への誓い」を発信しています。

【平和への誓い】

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。
同じ過ちを繰り返さないために、多くの人々が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。
この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。

誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。
涙とともに止まらない、絶望の声。
一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。
どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。
大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。
多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。
一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。
周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。
大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。
あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年(2025年)8月6日
こども代表
広島市立皆実小学校6年 関口 千恵璃
広島市立祇園小学校6年 佐々木 駿目

【広島市教育委員会HP参照】



【平和記念式典で「平和の誓い」読む小学生/NHK WEBより】



今年で戦後80年を迎えます。戦争を生き延びた人は高齢化し、当時のことを知る人はどんどん減ってきていますが、平和への思いを若い世代へ託そうと、発信を続ける人もいます。私たちは、同じ苦しみを二度と繰り返さないために、戦争を知る人からのバトンをしっかり受け取り、後世へとつなげていかなければなりません。生徒のみなさん、この機に「平和」について考えてみてください。